

2学期が始まりました

2学期がスタートし1ヶ月。運動会に向けてどの学年も、練習に力が入っています。今から各学年の発表が楽しみです。

運動会が終われば、いよいよブロックでの公開授業が、本格的に始まります。すでに事前研究を進めているブロックもあります。『豊島西授業スタンダード』をいかしながら、物語文の学習を各学年、進めていただきたいと思います。

< 1年生・「おおきなかぶ」 >

1年生は2学期が始まりすぐに「おおきなかぶ」を、ワークシートを活用し学習しました。かぶが抜けず仲間を呼ぶときの登場人物の気持ちや、力を合わせてかぶが抜けたときの登場人物の気持ちなどをワークシートに書き込み、またどこからそんな気持ちになったのか書かれてある本文にも注目し、読みを深めていました。

最後に犬・猫などそれぞれ役割を決めたあと、かぶが抜けたときの登場人物の気持ちを考え、それにあうセリフも考えました。それぞれのグループに分かれて、実際にかぶをぬく演技を見せあいました。

子どもたちは友だちの発表のいいところをしっかりと見つけ、伝えていました。

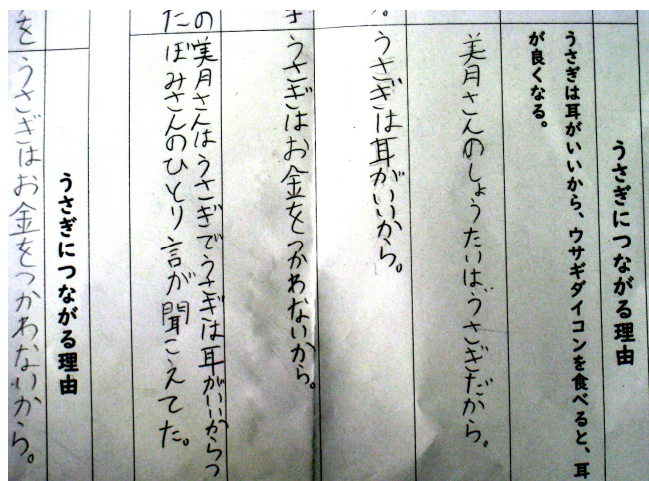


みんなで力を合わせて、かぶを抜きます。
このあと班で考えたセリフ発表!



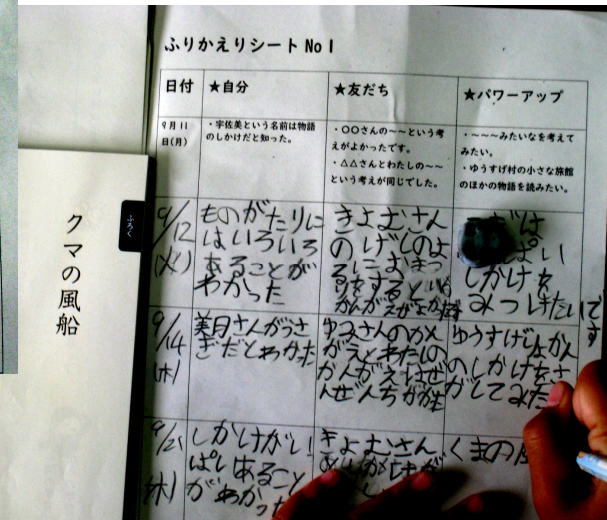
班でセリフの相談。しっかり話し合い活動が、できていました。

< 3年生・「ゆうすげ村の小さな旅館」 >



女の子に化けたうさぎ。物語を読んでいると、正体のわかるしかけがたくさん……。

毎時間のふりかえりもしっかり書き込めています。



3年生は「ゆうすげ村の小さな旅館」を読み、物語の中に隠されている登場人物の正体がわかる「しかけ」を、みんなで考え読み進めました。本文から「しかけ」を見つけ、それぞれワークシートに整理。その後の少人数での話し合いも慣れていて、班で相談。友だちが発見した「しかけ」に、『わたしもそこ、見つけた!』『え～気づかなかった!』など声をあげながら、情報の共有をグループでしていました。

この物語は別の物語「クマの風船」と、つながりがあります。本文を読み、また挿絵も隔々まで見て、作者が作った「しかけ」や内容の似ているところなども、あわせて考えていました。「どちら魔法の道具がでてくる。」「名前が熊井や宇佐美(ウサギ)など動物に似ている。」など、発見していました。物語にでてくる物や道具に大きな役割があることを学び、学習を終えていました。

